

アフターコロナを見据えて、世界は大きく変化しており、建築も例外ではありません。

より複雑な課題に立ち向かうため、協業やデジタル化など今まで以上に時代に合わせて変化する必要があります。

第1部は 建築集団チームラボアーキテクツによる、新鋭なる発想と着眼点から建築を見つめ直す講演を、

第2部は 隣接する読書の森計画に関わった意匠、構造、施工、サインに至る様々なプロによるトークセッションを開催いたします。

異なったアプローチから建築を考察する、従来の講演会とは違った企画ですので、是非ともご参加下さい。

世界で活躍する最先端の建築集団による 様々な「境界」を超えた空間への新感覚アプローチ

1st

10:00～12:00



登壇者 チームラボアーキテクツ 代表 河田 将吾 氏

デジタルテクノロジー、アート、生物学、建築の境界を越え、新しい時代の都市と自然と人々のありようや、新たな建築や空間のありようを模索する建築集団チームラボアーキテクツの代表。工学院大学非常勤特任教授。

代表作



キッズラボ南流山園



動物が住まうオフィス



チームラボプラネッツ TOKYO DMM

2st

14:00～17:00

BCS賞受賞「読書の森」松原市図書館を語る。 多領域のプロフェッショナルの協業による建築へのアプローチ



MARU. architecture

森田祥子氏(左)により2010年設立、2013年から高野洋平氏(右)と共同主宰。住宅から公共施設など幅広い活躍で、グッドデザイン賞(2017・2019・2020)やJIA優秀建築選(2020・2021)など受賞多数。

施工

鴻池組

1871(明治4)年創業の大阪に拠点を置く建設会社。2021年に創業150周年を迎え、誠実、懇切、敏速の精神を根底にビジョン「KONOIKE ONE VISION 2050」を策定。

構造・設備・照明計画

ARUP

建築や土木、設備エンジニアリング、設計、計画、プロジェクト管理を世界で提供する国際的技術コンサルタント会社。

グラフィックデザイン

MARUYAMA DESIGN

2012年、丸山智也氏が設立したグラフィックデザイン事務所。「読書の森」サイン計画でSDA Award2020金賞/永山祐子賞を受賞。

松原市図書館

読書の森

ため池や古墳がまちの中に点在する松原市の、文化施設が集う田井城今池公園内のため池を敷地とし、水中に力強く存在する土的外殻を持った建築。この強靱な外壁により鉄骨造での自由度の高いスキップフロアの空間が可能となった。第62回BCS賞受賞作品。



■ 講演概要

2022年2月12日(土) 9:00～開場

松原市文化会館 大ホールにて

所在地:大阪府松原市田井城1丁目3番11号
最寄駅:近鉄南大阪線「高見の里駅」下車徒歩7分
施設の情報は下記HPにてご確認ください
<https://mbj-zaidan.jp/bunka/>

※会場ホワイエにて協賛企業出展ブースあり

■ 参加費

一般 ¥2,000 (※1)
学生 ¥ 500
WEB 一律 ¥1,000

※1 建築士会員は参加料は¥1,500になります。

※2 お支払いは、申し込みの後 オンライン決済 (PassMarket)にてお願いいたします。

申し込みには LINE で登録を！！



申し込みはお手持ちのスマートフォンから左記QRコードでLine公式アカウントに登録頂くことで可能になります。上記アカウントはイベント前の情報発信やイベント中の様々な場面で必要になりますので、ご登録くださいませ。